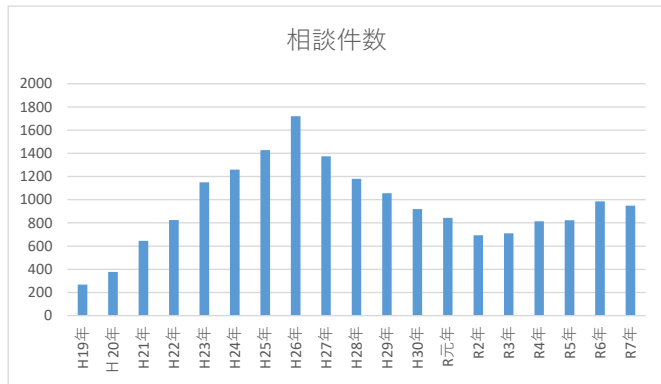


令和7年度臨床指標 がん相談支援センター

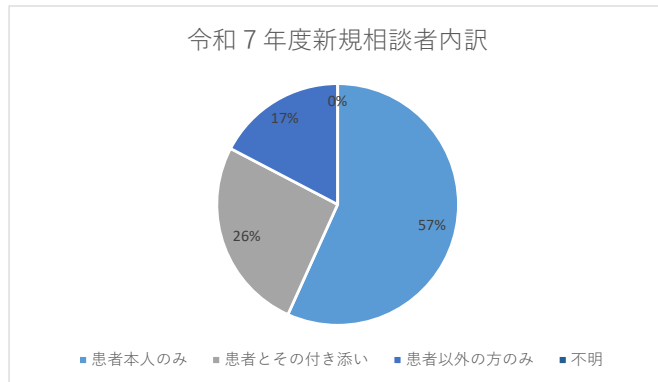
相談件数（新規、2回目以上含む）

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
相談件数	269	378	645	825	1151	1260	1428	1721	1375	1180	1056	920	844	693	711	813	823	986	948



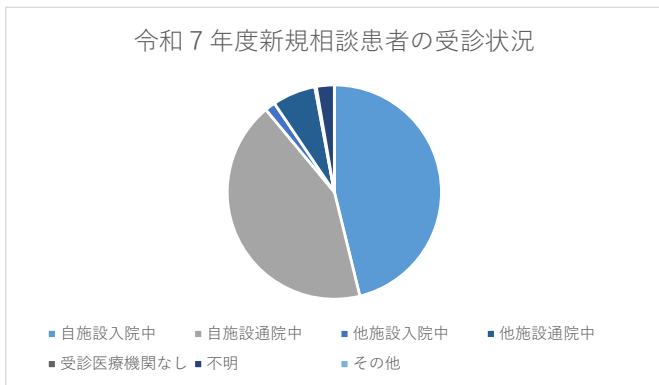
令和7年新規相談者内訳

患者本人のみ	患者とその付き添い	患者以外の方のみ	不明	総数
252	115	77	0	444



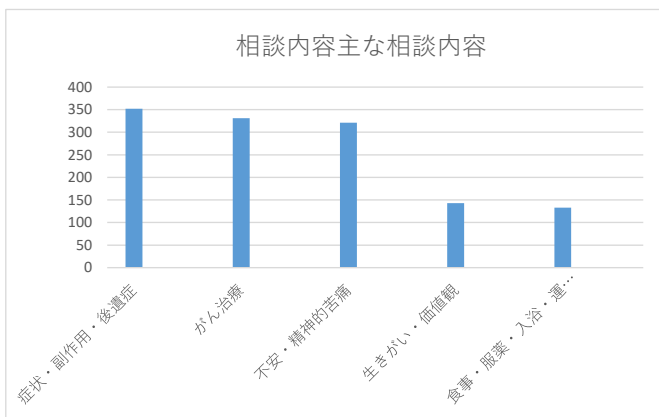
令和7年度新規相談患者の受診状況

自施設入院中	自施設通院中	他施設入院中	他施設通院中	受診医療機関なし	不明	その他	総数
205	190	7	29	1	12	0	444



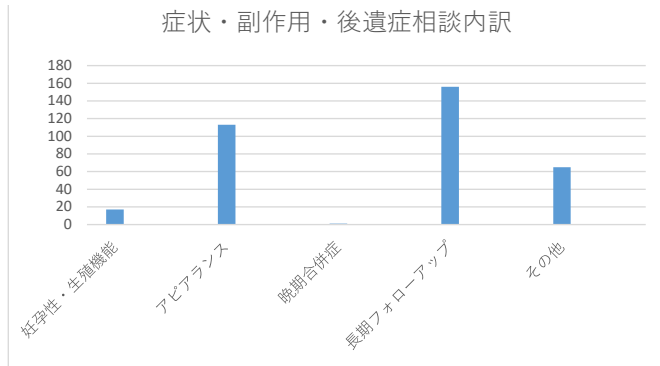
令和7年度相談内容延べ件数は948件、相談内容は、順に症状・副作用・後遺症352件、がん治療331件、不安・精神的苦痛321件、生きがい・価値観143件、食事・服薬・入浴・運動・外出133件であった。また社会生活（仕事・就労・学業）の相談内訳は就労について28件、治療と仕事の両立についてが13件であった。

症状・副作用・後遺症	がん治療	不安・精神的苦痛	生きがい・価値観	食事・服薬・入浴・運動・外出
352	331	321	143	133



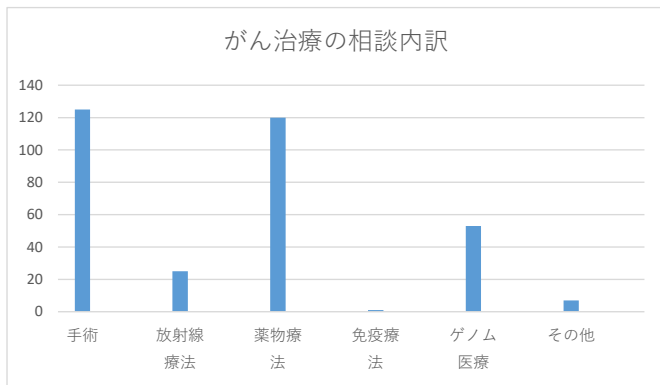
症状・副作用・後遺症の内訳

妊孕性・生殖機能	アピアランス	晩期合併症	長期フォローアップ	その他
17	113	1	156	65



がん治療相談内容内訳

手術	放射線療法	薬物療法	免疫療法	ゲノム医療	その他
125	25	120	1	53	7



がん治療について、手術や薬物療法についての相談が多く、症状・副作用・後遺症野相談では長期フォローアップ、アビアランスについての相談が増加している。